

無人島アドベンチャーキャンプ2026
～ 未知への挑戦 仲間と乗り越える 特別な5日間～

開催要項

1 趣 旨

変化し続ける社会の中で、新しい未知の問題に対応していくことが求められる時代を担う子供に対して、知識、技能を身に付け、判断力を磨き、他と協働しながら生き抜いていく力を素養することが求められている。キャンプなど自然体験活動は、一般的に小グループでの生活や活動が主体であり、仲間とよく相談し協力・共感するといった態度や行動が求められるため、青少年の自主性や協調性、社会性の育成に大いに役立つものである。

本事業を実施することにより、無人島での集団生活を通して、コミュニケーション能力、自主性、他を認める心、対応力、自然への親しみ、想像力など多くの効果が得られることが期待される。参加した子供達の感性が磨かれ、仲間との協働を通して認め合い、自らと向き合うことで大きく成長することを期待し本事業を実施する。

- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
 3 後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社
 (予定) 沖縄県PTA連合会、沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県小学校長会
 沖縄カヤック・カヌー協会、沖縄県中学校長会、沖縄県高等学校長協会、沖縄県キャンプ協会、
 日本ボーイスカウト沖縄県連盟、ガールスカウト沖縄県連盟、沖縄県内青少年教育施設
 沖縄県ライフセービング協会
 4 期 日 令和8年 5月2日(土)～5月6日(水) 4泊5日
 5 場 所 国立沖縄青少年交流の家キャンプ場および渡嘉敷村儀志布島
 6 対 象 小学5年生～中学3年生
 7 定 員 24名(小学生12名、中学生12名)
 8 内 容 (1) 無人島での生活(班別活動、ソロ活動)
 大型カヌーでの上陸、漁労活動、野外炊事、無人島内散策等
 (2) 無人島生活に必要なスキル「生きる」技能の習得
 ビバークテント設営、スノーケリング、魚釣り、魚さばき、貝採り、塩づくり、火起こし等

9 日 程

月 日(曜)	活 動 内 容			活動場所
	午 前	午 後	日 没 後	
5月2日(土)	泊港から渡嘉敷港へ 開講式 アイスブレイク	大型カヌー、スノーケル研修 ビバークテント設営研修 火起こし、野外炊事 等	装備品パッキング研修 熱中症対策講習 目標設定・ふりかえり	キ ャ ン プ 場
5月3日(日)	出発準備 大型カヌーにて儀志布島へ 8:30 発	島内散策(地形、危険箇所) 漁労講習会	班での話し合い ふりかえり	儀 志 布 島
5月4日(月)	班別活動、漁労活動、 塩づくり	班別活動、漁労活動、 塩づくり	ソロ活動 ふりかえり	
5月5日(火)	班別活動、漁労活動 ソロ活動ふりかえり	班別活動、漁労活動 分ち合いの集い準備	分ち合いの集い	
5月6日(水)	班別活動、漁労活動 テント撤収、9:00 移動 機材片付け	ふりかえり アンケート・感想文記入	渡嘉敷港から那覇泊港へ 無人島キャンプ報告会 ～解散～	場 キ ャ ン プ 泊 港

- 10 参加費 50,000円(講師代、備船代、バス代、食事代、保険代、Tシャツ代、雑費等)
 上記以外に泊～渡嘉敷間の往復船舶代として小学生1,610円、中学生3,210円
 が必要になる。
 ※参加費は渡嘉敷島で徴収。船舶チケットはチケット売り場で参加者氏名を伝え各自でご購入する。
 ※台風等により、事業が中止になった場合でもTシャツは事前発注となるため代金をお支払いいただきます。(2,000円程度)
- 11 申込み 令和8年 4月8日(水)～4月23日(木) (必着)
 参加申込用紙をHPより申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記までMail、FAXまたは郵送での申込み。(受領確認後、こちらからメールで連絡を差し上げます。)

- ※申込書の「無人島アドベンチャーキャンプの目標」を記入（本人直筆）すること。
- ※応募者が多数の場合は、様々な年齢、地域、学校から参加できるよう、学年・性別・地域や学校などを考慮し、厳正な抽選を行う。
- ※参加決定のお知らせは、4月21日（火）までに当選者、落選者はメールで行う。
- ※定員が20名に達しない場合は中止もあり得ます。
- ※定員に空きがある場合には継続して受付をする。

- 1.2 持ち物
- ・着替え ・水着（ラッシュガード：上下長袖） ・マリンシューズ（運動靴でも可）
 - ・帽子 ・タオル ・サンダル（クロックス型は砂をかんで不便です） ・軍手 ・雨合羽 ・洗面用具
 - ・水筒（1.0～1.5リットルペットボトル可） ・リュックサック ・ヘッドライト（頭部装着用ライト）
 - ・予備乾電池（ヘッドライト用） ・筆記用具 ・健康保険証（写し可） ・日焼け止めクリーム
 - ・サングラス ・常備薬 ・参加費（渡嘉敷島で初日に徴収）

※上記の物以外は持ってこない※

1.3 参加における留意点

- ・那覇市泊港「とまりん」まで**保護者での送迎**を原則とする。
【送り】5月2日（土）8：30受付後、乗船券売場で事前はこちらからお伝えする予約番号と氏名を伝え、各自乗船券を購入する。渡嘉敷島までは交流の家職員が引率する。
【迎え】5月6日（水）17：40とまりんターミナルビル地下1階・会議室B（那覇市）にて報告会を行う。（17：40～18：50）
- ・**集団活動を乱す、指導者の指示に従わない等がある場合は、主催者側の判断により、プログラム途中での保護者への引き渡しもある。その際は、保護者に那覇市泊港まで迎えに来てもらう。**
- ・天候によって日程の短縮、宿泊場所の変更が生じる場合がある。
- ・特別に体を鍛える、豊富なキャンプ経験などの必要はないが、参加者は健康であることが必須条件になる。参加決定者には後日、問診票を提出してもらう。
※問診票の内容によっては、医療機関発行の健康調査票を提出してもらう。
- ・キャンプ中は十分な水分補給が可能であるが、漁労活動の状況等によっては、多少空腹で過ごすことも考えられる。また、食材は捕獲した魚や貝が中心となり、**食物アレルギー等への対応は困難**である。
- ・**無人島を楽しむ企画ではない。** 厳しい生活環境の中、様々な困難を乗り越える体験を重視したプログラムになる。そのため、無人島での生活を含む5日間を集団で生活する「このキャンプに参加したい」という**本人の強い意志**が必要となる。

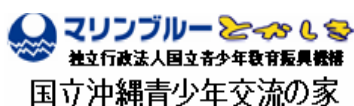
1.6 その他

- ※泊港までの交通機関経費は自己負担となります。
- ※調査、研究のためのアンケート等にご協力ください
- 自然災害等により、開催当日に船舶が欠航になった場合も自己負担となりますのでご了承ください

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物やインターネット（以下、「印刷物等」）に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、機構発行の印刷物並びに機構以外の者が発行・運営する印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。



問い合わせ:国立沖縄青少年交流の家 担当:仲里 信哉

〒901-3595 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷2760

TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318

HP <https://okinawa.niye.go.jp/> Mail okinawa@niye.go.jp